令和４年１月２５日（火）

「３年生 まちづくり探究発表会」

１月２５日（火）にまちづくり探究でおしゃっち（大槌町文化交流センター）にておしゃっち課題解決案の発表会を実施しました。３年生教養コースのまちづくり探究では今期「おしゃっちをより良い場所にすることをテーマにデザイン思考しよう」という取り組みをしました。昨年末１２月７日におしゃっちのスタッフから５つのテーマの課題を説明していただき各テーマ３～５名の班で解決案を考えました。各班で考えた解決案の発表を行ったのが今回の発表会です。助言いただいたおしゃっちスタッフの方々から講評もいただきました。

テーマ	提案内容
カルチャー教室班 （おしゃっちに人を呼ぶためにはどのようなイベントを開けばよいか）	町民に身近な郷土芸能の体験講座を企画し、デザインに工夫を加えることの必要性を提案した
おたがいさま活動班 （フードバンクやフードドライブ活動に寄付や協力者を増やすためにはどうすればよいか）	寄付品や協力者を増やすために具体的に何に困っているのかを若い人たちへも伝える必要性について提案した
震災伝承班 （どうしたら若い人は伝承に関わるのか）	若い人は危機感を感じてもらうため映像によるシミュレーション教材をつくるべきであるとと提案した
図書館班 （中高生の利用を増やすにはどうすればいいか）	利便性を高めるため高校への返却ボックスの設置を提案した
アソビバ班① （子どものためのアソビバ運営にかかわる人を増やすにはどうしたらいいか）	こどもが使いたくなる遊具をイベントで活用することを提案した
アソビバ班② （子どものためのアソビバ運営にかかわる人を増やすにはどうしたらいいか）	各地区でアソビバの名前を使いながらそれぞれの主体で実施を行うことで輪を広げていくことを提案した